

「博士課程教育リーディングプログラム」中間評価結果

機関名	大阪大学	整理番号	K03
プログラム名称	ヒューマンウェアイノベーション博士課程プログラム		
プログラム責任者	尾上 孝雄	プログラム コーディネーター	清水 浩

◇博士課程教育リーディングプログラム委員会における評価（公表用）

【総括評価】

計画を超えた取組であり、現行の努力を継続することによって本事業の目的を十分に達成することが期待できる。

【コメント】

リーダーを養成するプログラムの確立については、研究科を跨ぐメンバーで構成する融合研究が本プログラムの柱の一つであるが、すでに 28 件の融合研究が立ち上がっていることは特筆に値する。なお、融合研究は、計画では 3 年次で中心的に実施する予定であったが、計画を超えて前倒しで既に実施しており、国際会議での発表や、論文採択に至っている研究成果もあることから、計画を超えた取組であると高く評価できる。また、融合研究能力の習得のために導入されたヒューマンウェア基礎論は、15 コマという限られた時間で座学とグループワークが効果的に組み合わせられており、学生からの評価も高い。学生からの要望によって実現されたこの取組は幅広い分野で適用が可能と考えられ、高く評価できる。今後は他のプログラムに横展開していくことが大いに期待される。

産官学民参画による修了者のグローバルリーダーとしての成長及び活躍の実現性については、各学生に対して個別に学生アドバイザー委員会を設置しており、木目の細かい指導と同時に産業界からの委員による、スキルパスなど将来の活躍の場の視点からの指導も行われている。また、学生アドバイザー委員会が GPI (Global Principal Investigator) スキル診断システムの診断結果を分析し、スキル向上の指針を与えているが、学生の 85% がこの GPI スキル診断の評価項目により成長を実感できると回答しており、その取組は評価できる。

グローバルに活躍するリーダーを養成する指導体制の整備については、5 名の特任教員が日頃から親身に指導を行うと同時に、海外の学生を招いて英語のみにより行われるセミナー合宿、プレインターンシップ制度など、ユニークな試みが行われていることは評価できる。

優秀な学生の獲得については、定員を大きく上回る志願者を得ており、入学時の TOEIC の平均点も高いことから優秀な学生を獲得できていると判断できる。また、女性、留学生、他大学出身者、社会人学生など、学生の多様性が実現されていることは評価できる。経済的支援については、奨励金に加え、学生主体の融合研究提案に対し審査の上で研究費を助成していることは特筆すべき試みとして評価できる。

世界に通用する確かな学位の質保証システムについて、学位審査では、自らの研究成果を専門家として理解し説明できることに加え、融合研究の成果について、その波及効果を異分野の研究者にも容易に理解させることができるかを重要な基準としており、十分であると評価できる。

事業の定着・発展については、社会への発信や産業界との協働など、現段階から学長が中心となり、大学全体として財政基盤の確保のための対策を講じていることは評価できる。